

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第10回武蔵村山市観光施策検討協議会
開 催 日 時	平成23年11月9日（水）午前9時30分から午前11時10分まで
開 催 場 所	市役所4階 401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：溝尾良隆、高橋茂明、高橋敏彦、古屋勤、乙幡章吾、小林充子、田村崇寛、乙幡弘、鳴川和広 欠席者：嶋田一成、江村信彦、佐保満和、柳澤有三、高橋昭、乙幡清次、青柳真紀子 事務局：地域振興課長、地域振興課観光グループ主査、同グループ井上、農政グループ主任 委託業者：日本コンサルタントグループ（川本、南澤）
議 題	(1) 武蔵村山市における観光施策について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1) 武蔵村山市における観光施策について 観光資源一覧表を作成し（事務局）、次回検討する。 (2) その他 次回検討協議会の日程は、12月13日（火）とした。
審 議 経 過 (主な意見を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ○ 委員 ● 事務局	(1) 武蔵村山市における観光施策について ※ 冒頭、検討会溝尾会長より前回討議結果についての確認。 ○ 道の駅の設置については、村山温泉かたくりの湯及び歴史民俗資料館とし、給食センターは対象としないことで議論がまとまった。農産物の直売を含め道の駅のような機能や、運営の手法等は事務局が検討し、併せて画を描くこととする。なお、かたくりの湯の整備（改修）に当たっては、道の駅全体を見た上での整備をお願いしたい。 ● かたくりの湯の指定管理は平成24年3月で終了し、改修に入る。農産物を販売する現在の小屋は撤去し、ピロティ（柱に支えられた吹き放し）の周辺に直売所を予定するほか、移動式足湯を考えている。 ※ 以下、武蔵村山市における観光施策について。 ※ 観光施策の検討、協議に当たり、事務局より配布資料の説明。 ・施設プロット図（A3版ヨコ型） ・多摩ら・び ・狭山丘陵武蔵村山エリア ウォーキングマップ ・都立野山北・六道山公園折りたたみ案内パンフレット ・事務局作成資料 ● 施設プロット図は、市の秘書広報課作成のものであるが、観光を主眼としていない。また、多摩ら・びについては、行政は一切関わっておらず、市民リポーターが編集等を行なった。ウォーキングマップは、商工会が中心に作成しており、武蔵村山市商工会主催のウォーキングイベントは、例年1800人（平成23年は、雨天のため400人）程度参加している。都立野山北・六道山公園は都内最大の都立公園であり、毎週のようにイベントが行われている。A4版資料は、市の年間行事をはじめ、観光施策に関する情報を収集して掲載している。 ○ 多摩ら・びは市から金銭的な補助はしていないのか。 ● 一切していない。 ○ 市の観光パンフレットはないか。 ● 本年度作成の予定をしていたが、本検討協議会の協議を踏まえ平成24年度に作成する予定である。

- 多摩ら・び及びA4版に掲載されている情報（施設等）を一緒にした一覧表を作成し、その中で優れているもの等を見出したいので、事務局は作成願いたい。すべて入れて、削ることにより施策の検討ができる。
- 館山市では戦争遺跡があり、ガイドもいる。日産跡地脇のプラタナスの街路樹は都内でも珍しい。
- 幅を広げて検討すべきである。（長野県）小布施町では多摩ら・びのような冊子が3から4冊分の分量であり、それを販売している。
- 練馬区では90万部購買されている。今年のデエダラまつりはどの程度の来場者数であったか。
- 7万6千人程度で例年並みであり、催し物が複数開催された。まつりの実行委員会は市民等60人で運営されている。広報用にユーストリームを活用している。
- 市の観光経路について一目でわかるものがない。また、公共交通機関のみで来訪するのはたいへんであるため、自動車以外の来訪者のためにバス等の経路図があってもよい。効率的に市を訪れてもらうために、場所の紹介と交通機関のリンクが必要である。
- 全てのバスの路線図をバス運行手帳として作成するとよいのではないか。
- 市の循環バスは、現在、市内3路線を運行している。今後変更することも考えられる。
- 利用者数はどの程度か。
- 平成22年度は年間25万人程度である。車両は、予備を含め11台あり、そのうち10台で運行している。通勤時間帯は通勤者に合わせ、昼間はかたくりの湯等の利用者に対応したダイヤで運行している。それ以外には、都営バス、西武バス、立川バスの3社が運行している。
- バス会社の連携は取れないか。ダイヤ改正時に路線図を作成していただくとよい。
- 都内になくて、武蔵村山市のみのものといえば空堀川があるが、魚が何万匹もいる。
- 「堀」の源は何か。
- 不明であるが、観光資源としての利用を考えたい。
- ウォーキングマップには、所要時間や標高、観光マップには、食事の場所等が書かれていない。
- 初めて訪れた方が使いやすいようにするとよい。
- 商工会もマップを作成する。その相乗効果はあると思う。
- 印刷物にすると変更が大変である。インターネットのホームページに掲載することも検討していただきたい。
- 市内への来訪者はどの程度か。
- 把握していない。イベントごとにはカウントしている。
- ポケットガイドを作成し、武蔵村山市に来るための1冊がほしい。商工会では市内を9つに分け、ちび散歩として9コース作成する。併せて、そこには店舗をプロットする予定である。
- 武蔵村山市の知識がどうインプットされるか。活字媒体と電子媒体の違いもあるが、その組み合わせも必要である。また、市の情報だけでなく、周辺（自治体・観光資源）を含めたマップも必要である。
- （青梅市の）御岳山では、来訪者数が増え、犬・猫も可とした。
- コースはたくさんあってもよいので、コースづくりを市民から公募してはどうか。

(2) その他

- ① 次回以降の検討協議会の内容について
事務局より、1月は、素案の検討。2月には報告書（案）を検討する予定

	<p>について、説明。</p> <p>② 次回検討会の日程 12月13日(火) 9時30分から11時とした。</p> <p style="text-align: right;">- 以上 -</p>
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： <u> 0 </u> 人</p>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非 開 示 (根拠法令等：)</p>
--------------------------	---

<p>庶 務 担 当 課</p>	<p>市民生活部 地域振興課 (内線：225)</p>
------------------	-----------------------------

(日本工業規格A列4番)